

かがやく 女性部

苗を届けて40年。 土に触れる機会を 女性部東和支部「サツマイモの苗配布事業」



女性部東和支部は5月23日、花巻市東和町内の保育園や小・中学校などの教育機関にサツマイモ苗の配布を行いました。

食育活動の一環として始まった活動は「地域に貢献したい」「小さな頃から土に触れる機会を作ってあげたい」という部員たちの思いで長期にわたって続けられ、40年目を迎えた今年、紅あずまの苗1600本を準備。部員たち10人が東和町支店に集まり、配布しやすいように苗を各人数分に小分け作業を行いました。



苗を振り分ける女性部員達

同日には小田島邦子支部長が東和小学校を訪問し、苗1200本を贈呈。代表して児童会長が受け取りました。小田島支部長は「作業を通して食と農の大切さを分かってもらえたらうれしい。立派に大きくなったサツマイモが楽しみ」と話しました。



苗を贈った小田島支部長(左)と、受け取った児童会長(右)

収穫したサツマイモは同町で毎年10月中旬に開催している「とうわ産業まつり」のコンクールに出品し、「掘るのが大変だったで賞」などのユニークな賞を支部より授与する予定です。



心を耕し未来へ 食と農の掲示板

次世代へ食育教育
～花巻まんまーず～



園児と一緒に食材を切るまんまーずの会員



「おいしい」と笑顔がこぼれます



「小さな森」

JAの食育リーダー「花巻まんまーず」は5月26日、今年度初の活動となる食育体験出前授業を花巻たかき幼稚園（花巻市高木）で行いました。

藤根悦子さんを中心に会員4人が指導にあたり、5歳児の園児31人が豆腐ハンバーグや野菜スープ、おにぎり2種のほか、ちくわにブロッコリーを挿した「小さな森」作りに挑戦しました。おにぎりには花巻産の古代米を使用するなど地産地消にもこだわっています。

園児たちは包丁を使い、同会員に「包丁を使うときは、左手を猫の手にしてね」と教わりながら、野菜スー

プに入れるダイコンやニンジン丁寧に切りました。おにぎりを握ったり、ハンバーグをこねるときには「おいしくな〜れ」と話しかけながら、楽しく調理しました。

調理後は、昼食として自分たちが作った料理を食べました。園児たちは「自分で作るとおいしい！おかわり！」と口をもぐもぐ。笑顔が溢れた楽しい昼食になり、野菜スープはなくなるほどの人気でした。

「花巻まんまーず」は、JA管内の女性農業者で構成しており、就学前の子どもたちを中心に料理体験を通じて食育活動を続けています。